

宮田南小学校通信

危機管理不足

昨日19日木曜日に、地区会を開きました。地区会では一年生から六年生の子どもが地区ごとに集まり、まず自分の地区のメンバーを確認しました。そして、地区長と副地区長を選出し、そのリーダーを中心に集団下校の整列の仕方等子どもたちに指導しました。

それから、地区ごとに教員が引率し、集団下校をしました。ところが、ここで**あってはならない事件が発生**しました。その詳細は次のとおりです。

それは、学童保育に残さなければならぬお子様を、集団下校させてしまいました。そのお子様は、家に帰っても鍵が閉まっているので、どうしようもなく、近くのコンビニエンスストアに行き、約2時間をそこで過ごしました。また、このことを学校が知ったのが、保護者からの「家に帰っていない。学童保育だったのにならっているのか。」という連絡でした。学校では、この連絡を聞いて、すぐにお子様の地区方面に探しに行き、発見したということでした。

この事件の原因は次のことにあります。

- 1 担当が学童保育の子どもの確認を見誤ったこと。
- 2 担当が自分の学級の子どもの帰宅の方法を確認し、担当に再度確認していなかったこと。
- 3 学童保育と学校の連携がとれていなかったこと。

そこで、このような事件が2度と起こらないように、次のように対策しました。

- 一 担当だけでなく、必ず複数の眼で確認すること。
- 二 担当が自分の学級の子どもの帰宅の方法を確認し、担当と必ず再度その日に確認すること。
- 三 学童保育と学校が連携し、報告・連絡・相談を行うこと。

この3つを厳守します。

今回の事件では、保護者の方々からお預かりしているお子様を無事に発見できなかったから良かったものの、本当に命の保障ができなかった事件でした。

心よりお詫び申し上げます。これらのことを反省し、職員一同気を引き締めて

参ります。本当に申し訳ありませんでした。

このことに伴い、保護者の皆様にお願いがありません。お子様の帰宅方法の変更や何かお気づきの点がございましたら、必ず連絡帳に書いて、担任までお知らせください。残念ながら、お子様はまだ、はつきりといろいろな内容を伝えることができません。どうぞ、ご協力を願います。



いいお天気に恵まれ、今日は一年生の歓迎遠足です。

六年生が一年生の面倒をみながら、二〇〇年公園まで行きます。

また、遠足の前には児童会活動の代表委員会、総務委員会が提案した「一年生を迎える会」があります。この会のめあては「一年生とふれあい、みんなが仲良くなれる楽しい一年生を迎える会にしよう」です。

そこでは、一年生の自己紹介やゲーム等が計画されています。

楽しみです。に
して